

年後半の教育計画を大幅に変更しました。そのことで、生徒たちもまた成長してまいりました。

「啓蟄」も過ぎ、土の中に眠っていた虫たちも、躍動の兆しを感じて地上に這い出していく好季となつてしまいりました。

本年度も皆さま方には、本校

に対しまして、深い理解と温かいご支援を賜りましたことに感謝し、厚く御礼申し上げます。

また、生徒の皆さんも各自の目標に照らして確かに成長を遂げてくれたことを嬉しく思っています。

ところで本年度は、エボラ出血熱の広まりや、過激派組織 ISISによる世界的なテロの脅威などにより、安全面の配慮から四年生の修学旅行を中心せざるを得なくなりました。そのことで、

本校の特徴は年齢の差を超えて

何とも、微笑ましく感じます。

十月の「聖華祭」は学校最大の行事であります。今年も「見事なステージ」や「目を見張る展示」を披露してくれました。

また、これらの行事は学校生

更することになり、皆さま方に多大のご迷惑をおかけいたしました。この場を借りてお詫び申し上げます。

今年は例年以上に生徒が前面に出る形で運営をしてくれました。今後も、生徒が主体的に取り組む行事を増やせればと考えています。

寒中には恒例の「耐寒訓練」を行いました、五年生は昨年より、吉野神宮駅から学校までの二十キロコースに挑んでいます。が、今年も無事に全員が踏破してくれました。帰校後には、育友会役員の皆さま方によつて豚汁とお餅が振る舞われました。いつものことながら、豚汁は寒さと疲れを癒やしてくれる美味しさでした。

おりに、今の世界情勢を見ると、私たちは政治・経済・文化など、様々な面で大きな課題に直面していることを実感します。折しも我が国は今年、戦後七十年を迎えます。なんだか、穏やかな水面に波紋が生じる気配を感じなりません。そんな時代を生き、これから日本を担つて立つ子どもたちには、柔軟な思考力と確かな判断力、積極的な行動力、それに仲間と共に生き抜こうとする強い精神力が不可欠です。学校としても指導の工夫に一層の努力をして参りたいと考えています。どうか、ご支援をよろしくお願ひします。

年度末を迎えて

学校長 森田眞康

第三号

発行 聖心学園中等教育学校
福岡市久米町二二三番地
平成二十七年三月二十日発刊

題字 田中 七菜書

社節 誠実 勇氣 創造

今はあどけない生徒たちが、タケノコのようにすくすく育ち、しなやかでまっすぐな竹に成長してくれることを願って、学校通信を「たけのこ」と名付けました。

1. 学校長挨拶
2. 第7回卒業式
3. 百人一首カルタ大会
4. 体験の日
5. 耐寒訓練
6. スキー実習
7. 創作ダンス部
8. 各部より

たしました。ご活用ください。

また、先日の国公立大学の前期日程では、京都大学一名(文)、大阪大学二名(工、基礎工)、神戸大学三名(文、経営、工)など、前期日程だけでも合格者は十五名となっています。中期および後期日程・私立大学などを含めた最終集計は、別にお知らせしますが、彼らの頑張りを大いに讃えたいと思います。

第七回 卒業証書授与式挙行



二月十一日、建国を祝う日に、本校におきましても、 七期生の一〇八名が、巢立ちました。



立春が過ぎても厳しい余寒の毎日が続いていましたが、久しぶりに穏やかな日和となつた二月十一日、第七回目となる卒業証書授与式が本校体育館にて、めでたく執り行われました。式場には、平田静太朗理事長、中澤弘学園長をはじめ多くのご来賓と卒業生保護者の皆様のご臨席の下、四・五年の在校生と全教職員が見守る中、一〇八名の卒業生は、学年主任と学級担任の先導により、文系、理系一组、理系二組の順に入場して、いよいよ式典が始まりました。

このたび、めでたく卒業の日を迎えた七期生は、十二年の歴史を持つ本校にとって生徒数が一番多い学年でした。そのため、従来の一・三組にS組も作り、四クラス編成でスタートしたの

式典のメインとなる卒業証書授与の際には、卒業生の一人一人が担任の先生による呼名に返答し元気に起立する様子を見て、その成長ぶりと彼らと過ごした六年の歳月の重みを痛感し、教職員は皆、深い感慨に浸つたことは言うまでもありません。



時間の経過とともに式典が進行し、森田眞康学校長は式辞の中で「決して自分の可能性に蓋をせず、聖心学園で培った自信と誇りを胸に、人生をしつかりと歩み、ひとかどの人物へと育つていてほしい」と慈愛溢れるはなむけの言葉が述べられ、ご来賓の方々からは心のこ



卒業の歌斎唱では、卒業生・在校生・教職員が一つになり万感の思いを込めながら「仰げば尊し」「螢の光」を歌い上げ、本年度の卒業証書授与式も皆様のご協力のお陰で、厳粛のうちに滞りなく、無事終えることができました。

なお、当日大学受験のため式典に参加できなかつた四名の卒業生には、三月二日(月)第二回卒業式を挙行し、卒業証書・記念メダルを授与することができます。

卒業生の保護者の皆様方にまつたお祝いの言葉をいただき送辞の際には、在校生を代表して五年の吉岡拓真くんが「先輩方はいつも私たち後輩の目標でした。先輩方から受け取つた様々なものを、きっと次に渡します」と述べ、答辞では卒業生を代表して東川早希子さんが、「こみ上げる惜別の情をこらえつても、「どうか夢をあきらめないで」と語り、後輩や先生方、同級生の仲間達そして家族の方々に心からの感謝の気持ちを述べていたのが印象的でした。

卒業の歌斎唱では、卒業生・在校生・教職員が一つになり万感の思いを込めながら「仰げば尊し」「螢の光」を歌い上げ、本年度の卒業証書授与式も皆様のご協力のお陰で、厳粛のうちに滞りなく、無事終えることができました。

百人一首カルタ大会

源氏の白旗と平氏の红旗の間で 2014

一部優勝 四年三組
二部優勝 三年二組



最強と思われた五年生チームが破れる。大波乱で幕が降ろされた今年度のカルタ大会、まさに団体戦の醍醐味、クラスの結束力を味わつた気分でした。来年はどうか、今年優勝の四年が逃げ切るのか、それとも新しい波がやってくるのか、楽しみは尽きないです。そして、大会を支える係りの人たちの活躍もめざましいものがありました。学

校行事に参加し、裏方として「みんなの」ことを考えた行動、ここにも確実に新しい波はやってきました。裏方の大変さとともに、「支える」ことからくる充実感を実感するものだったと思います。生徒実行委員、審判等の裏方に参加してくれた生徒諸君ありがとうございました。お疲れ様でした。(拍手)誰かのために何かをする、give and take ではな



く人と人の繋がりを感じて何かをする。そこから学ぶものは大きいと思います。「何もせずに文句だけ言う」人ではなく、前向きに行動する人を目指しますよ。聖心学園の伝統を作ろう！和歌に使われる「美し（うま）し」言葉を味わう絶好の機会が本校におけるカルタ大会ではないでしようか。私たちが日常使う言葉の美しさを改めて感じる機会にして欲しいと思っています。言葉を大切にしましょう。

和歌に使われる「美し（うま）し」言葉を味わう絶好の機会が本校におけるカルタ大会ではないでしようか。私たちが日常使う言葉の美しさを改めて感じる機会にして欲しいと思っています。言葉を大切にしましょう。



たけのこ

十月十日(金)は、前期課程各学年の「体験の日」でした。

体験の日

ブリザーブドフラワー体験



一年生はインストラクター富井朋子先生、吉川季左子先生にご指導をいただき、ブリザーブドフラワーを使ったフラワーアレンジメントを楽しみました。ブリザーブドフラワーとは、新鮮な花や葉を特殊液の中につけて水分を抜き、その後、さまざまなお花やドライでもない近年開発された新しいスタイルのお花です。湿気には弱いのですが、環境さえよければ長期間にわたりきれいな花を観賞することができます。普通の花よりは壊れやすいため、慎重に扱わなければなりませんが、生徒たちは器用に思い思いアレンジし、初めての体験とは思えない出来栄えに、講師の先生方も驚いておられました。全体像や色合いなど創意工夫をこらしながら、中には家族にプレゼントしようと、心をこめて制作した生徒もいて、出来上がった時は喜びの声が聞かれました。完成したフラ



● 生徒の感想より
今回の体験の日は、自分でつくる楽しさを学んだと思います。祖母は花が好きで、よく生けているのですが、すごいなと思うかたわら、自分には絶対無理や…とあきらめかけていました。でも、いざやってみると、手を動かすたびに思う形ができるてくる楽しさにとりこになりました。人のつくったものを見るのもいいけど、自分でつくったものを飾つて人に見てもらえるのはとても嬉しいことなのかなあとと思いました。出来あがった自分の作品は、家族のみんなが見られるリビングに飾つて、長く楽しんでいます。次回の体験の日も今までやったことのない体験ができるることを楽しみにしています。

一年一組 立岡 佑里華



大阪の歴史とミュージカル



二年生の体験は「大阪歴史博物館」見学と、待望久しい「劇団四季」のミュージカル鑑賞でした。

いつもの体験の日と同様、近鉄「橿原神宮前」駅中央口に集合し、貸し切りバスで一路大阪に向かいました。

午前中に訪問した「大阪歴史博物館」は、以前の体験の日で訪れたNHK「BKプラザ」の目の前にあり、ちょっと戸惑つた表情を見せる生徒もいましたが、エスカレーターで一気に十階まで進むとそんなこともどうかに吹き飛んでしまい、様々な展示物に見入っていました。

フロアごとに「古代フロア」「中世近世フロア」「歴史を掘るフロア」「近代現代フロア」

青空の下、大阪城を仰ぎ見ながらお弁当を広げた後は、待望のミュージカルです。再びバスに乗り、西梅田にある「四季劇場」に向かいました。



この日の演目は、好評で超ロングラン上演中の「ライオンキング」でした。平日の日中にもかかわらず、館内は超満員で、私たちの席は舞台に向かって左側の最上段でしたが、演者の様子が手に取るよう見渡せる配置になっていました。そして、みんなが心待ちにしていただけあって、開演するやいなや「浅利ワールド」に惹き込まれていきました。

世界中で大ヒットした同名のディズニー映画をもとに、アフリカの大自然に生きる動物たちを人間が演じるという難題を演出でクリアし、自然界に存在する生命の連環をテーマに繰り広げられる壮大なミュージカルです。国内において一五年連続の無期限ロングランを更新中で、上演回数は九〇〇〇回を超える。今年の七月には一〇〇〇〇回を突破するそうです。



この日の演目は、好評で超ロングラン上演中の「ライオンキング」でした。平日の日中にもかかわらず、館内は超満員で、私たちの席は舞台に向かって左側の最上段でしたが、演者の様子が手に取るよう見渡せる配

置になっていました。そして、三年生は、大阪にあるユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)に行きました。事前学習として三年生は、ただ楽しむだけにならないように、

U.S.J.がどのように運営されているのか、またどうしてこのような人気を保つことができ

るのかを理解して体験の日には少し蒸し暑さがありながらも、素晴らしい天気の下で多

くのアトラクションを満喫し

ていました。今年度からオーナーに入るために入園と同時に

ブンしたハリーポッターエリアに入るためには、

走り出す生徒もいれば、ハロ

ウインシーズン」ということで

仮装したスタッフに「Trick

or Treat」と言ってお菓子を

もらいう生徒もいました。その

中でもある生徒は、同じアト

ラクションにまた乗るために並んでいたり、ハロウインパ

レードで周りの一般の方と踊つて楽しんでいる生徒もいました。集合時間が近づくと、家族や友達のお土産を一生懸命に選んでいました。あつと静かになり、寝ている姿がとても満足げでした。

終演後には、緞帳が下りても拍手が鳴りやまず、六度・七度と繰り返されるカーテンコール

に、このミュージカルの素晴らしさが象徴されていたように感

じられました。



一月三十一日(土)、一年生は、「体力・忍耐力・団結力」という三つの力をテーマに、大和三山周遊コース(耳成山・香久山・畠傍山)全行程十一Kmを踏破しました。生徒たちにとつても馴染み深い山で、天候にも恵まれ、景色や歴史を体感しながら、のんびりと楽しみながら登ることができました。八木駅の権原文化会館前広場を出発地点として、まず、一つ目の耳成山を登り始めると、たくさんの中登山者の方とすれ違いました。生徒たちはとても元気よくしつかりと挨拶している光景が印象的でした。あつとう間に山頂に到着し、クラスの集合写真を撮りました。途中、それぞれの山で和歌を一首ずつ作り、思い思いの歌を書きとめました。耳成山を下山した後は、藤原宮跡を経由して香久山へ向かいました。

万葉の森で昼食をとりました。そして、学校からも北に望むことのできる畠傍山へ。ゴール後の生徒たちの表情はとてもさわやかで、やり遂げたという満足感でいっぱいでした。また、育友会のお母様方の心のこもった豚汁で心も体も温まりました。本当にありがとうございました。

8 U.S.J.で楽しみながら学ぶ!

耐寒訓練

一月三十一日、一年生から五年生の生徒が、時折雪が舞う中、それぞれの体力に合わせたコースを踏破する恒例の耐寒訓練が実施されました。



高取城址に向かい歩き出しました。山道を進むにつれて急こう配になる坂道にも負けず、「日本一の山城」と称される高取城を目指しました。

道中雪がチラつき、山頂には一面の雪景色が広がっていました。高取城の歴史に触れる一方で、山道で疲れ果てていたはずの生徒たちも雪景色に大興奮。雪合戦をしたり雪だるまを作ったりと、思い思いに雪遊びを楽しんでいました。

二年生は壺阪山駅に集合後、高取城址に向かい歩き出しました。山道を進むにつれて急こう配になる坂道にも負けず、「日本一の山城」と称される高取城を目指しました。

午後からは気温もグッと下がり、お昼休憩も早々に、雪の降る中互いに励ましあい、温かい豚汁を楽しみに帰路を急ぎました。見慣れた風景に囲まれ学校が近くになると、自然とみんなの足も早まつたようになります。学校に到着後、保護者の皆様にふるまつていただいた豚汁やおもちを嬉しそうにほおばる生徒たちの姿に、我々職員も思わず顔がほころびました。

雪のチラつく寒い中の耐寒訓練となりましたが、生徒たちは共に困難を乗り越え、より糸を強くし、同時に支えてくれる周囲の温かさを感じてくれたのでないでしょうか。

目指せ！日本一！

2



耳成山
一年生生徒の和歌より

歩くたび がさがさしゃべる 落葉かな

河合祐実奈

三輪山を制覇

3

香久山
香久山の木々の間に見える町
北村 桃香
香久山で食べる弁当
まじうまい
下方 康我
畠傍山
うねび山
見る景色は 美しき
多田 智哉
雪が降り
みんなでのぼる 畠傍山
田中 心乃



一年三月三十一日に実施された耐寒訓練では、当日、雪が降りしきる中、大神神社を出発することになりました。前日に降った雨の影響で三輪山が登れなくなつた為、予定していたルートを変更しての耐寒訓練となりました。最初に大神神社から桜井方面に向かつた後、道中で阿倍文殊院で休憩をとり、生徒達は後半に向けてしっかりと身体を休

めています。その後、文殊院を出発し、予定していたルートを変え、明日香の石舞台の方を目指し出発することにしました。生徒達は、去年までの耐寒訓練の経験もあつてか、生徒達の中では楽しそうに話していました。お互い励まし合う声が聞こえてくるなど耐寒訓練の目的にもある「支えあい励まし合うことにより友達への思いやりの心を養う」という目的もしっかりと達成してくれていた姿に成長を感じました。その後、石舞台で昼食をとり、まだまだ体力が余っているのか、食べ終わつた生徒の中には、体を冷やさないようサッカーハードをして体を温めていた。生徒や疲れた体を休ませている生徒など思い思いの方法で後半戦に備えていました。



その後、石舞台での昼食を終え、最後の力を振り絞り、学校に向いて帰るだけとなりました。学校が近付いてくると、自然と足早になるなど生徒達の顔を見ていてもどこか達成感に満ち溢れた顔をしていたのも印象的で、耐寒訓練を通じ、また一つ成長した姿を見る事ができました。一日になり、嬉しく感じました。

最後に、育友会の方々におかれましては、いつも朝の早い時間からご準備していただき、ありがとうございました。疲れた体においしくいただかせていただきました。

多武峰・石舞台コース

4



午前九時、桜井駅から多武峰に向かい出発。途中から雪が降りしきり、断念しなければとの不安がよぎりましたが、子供たちはその不安を搔き消してくれるように元気に歩みを進めてくれました。「一時間半をかけてやつと「談山神社」に到着。この社号のおこりは、中臣鎌足と中大兄皇子が多武峰の山中に登り、「乙巳の変」(蘇我氏打倒)の「談合」を行つたという伝説からきているとのことです。雪が舞う中での昼食でしたが、お店で温かいお茶の接待をうけて食事をしていた要領のいい者もいました。

降雪の心配もあり、食事もそこそこに石舞台に向けて出発。下山はじめた頃から風があるものの天候も次第に回復。石舞台では他学年の仲間とも合流し、予定より半時間早く学校到着となりました。全員怪我もなく元気に踏破してくれたことに感謝。育友会の方々の愛情こもった豚汁に、一日の疲れを癒すことができました。毎年ありがとうございます。



吉野神宮駅に集合し出発前から、雪がちらつくまさに耐寒訓練日和！？な天候でした。しかし、このような状況の中でも生徒達は元気！お互いに助け合い、また励まし合いながら必死で歩き進めていました。耐寒訓練の目標にある「長距離歩行を通して、体力・忍耐力・精神力を養う。」これが実現された耐寒訓練でした。

今回のコースは、長距離になるので休憩もそれぞれで、自分たちのペースで進むもの、友人と一緒に歩いてお話ししながら進むもの、進み方はそれぞれでした。峠を越えて飛鳥路を下っていく道のりでは、頭の中は育友会の方が早朝から準備していくさる愛情たっぷりの豚汁！焦がし醤油のおもちときなこもち

二月十七日（火）～二十日（金）にかけて、一年生から四年生まで総勢二百六十名が、恒例となっている長野県乗鞍高原温泉スキー場においてスキー実習を行いました。

スキー実習

5

出発当日、前夜からの雨で天候が心配されましたが、集合時間には曇天ながらも雨具の必要はなくなり、校長先生らの見送りをうけ観光バス九台を連ねの旅となりました。恵那に入るころには小雪も舞い、山々や民家の屋根には積雪も見られ気温の差がはつきりと体感できるようになりました。昼食は、出發

からかほとんどの生徒はバス内で食事をとつていました。乗鞍に近づくにつれて、天候が回復し気温も高く、道路は宿泊所付近に残雪がある程度で快適な走行となり、予定通りそれぞれの宿舎にたどり着くことができました。宿舎付近は名湯場でもあり硫黄の匂いが非常に印象的でした。

個人的にはきなこもちファンです♪) 途中の石舞台で全員一緒に再スタートして学校へ向かいました。ゴールの瞬間は達成感でいっぱいでした。最後に豚汁・おもちをいただきみんなほっこり。参加者全員が無事に怪我なく学校まで辿り着くことができてよかったです。

二日目、開講式ではインストラクターの先生方のデモンストレーションから始まり、生徒代表の挨拶では一年生の小山君が、初々しさの中にも堂々とした挨拶をしてくれました。実習は学年及び個々の技量に応じてグループ分けされていますが、一年生でも経験者が数名いて、



そのグループは早速の実践練習となりました。

今年を振り返つて

各部より

生徒部

今年もまた、ケータイに関するトラブルから始まつた一年だったと思います。これは「二三、四年変わっています。これは「デジタルタトゥー」という問題が最も多く、自分を傷つけることもあります。便利さに目を奪っているのです。便利さに目を奪われ、振り回されることのない行動を考えねばなりません。

利なものはその便利さに目を奪われがちですが、「安易」であることにも気付かねばなりません。その安易さは人を傷つけることも、自分が傷つけることもあります。容易くできるという危険を持つことでも、自分の現実をどこまで知っているのだろうかと思うと、不安を感じてしまいます。

当に良かつたのか、「日々是好日」ではなかつたのではないか。そう思うと反省もたくさん出てくる。まだまだ考えねばならないことが山積みされている。学校は急激な変化をする場所ではありません。多くの人の集まる場所であり、そこには多種多様な意見があります。急激な変化はそのいろんな意見・想いを一つに押さえ込む危険が潜んでいます。多くの人の意見を調整し、共通理解を深め、ゆるやかにつねに「better」を目指すことを忘れずにおこうと思います。

最終日、例年は帰宅のみにあり、午前中だけですが少しでも

多くのスキーを楽しんでもらおうと実習時間をあてることにしました。その後の閉講式では、四年生を代表して佐々木君が「合格証」をいただき、次いで生徒さんがあれの言葉と、この四年間の乗鞍での思いを述べて締めくくってくれました。

その後、大急ぎで帰り支度を行いバスで帰路につきました。昼食は例年の「おぎのや」さんで釜飯などをいただき、お土産コーナでは家族への土産か?一時本校生徒であふれかえっていました。帰りの天候も暑いくら

が、初々しさの中にも堂々とした挨拶をしてくれました。実習は学年及び個々の技量に応じてグループ分けされていますが、一年生でも経験者が数名いて、

生方にお礼の言葉と、この四年間の乗鞍での思いを述べて締めくくってくれました。

その後、大急ぎで帰り支度を行いバスで帰路につきました。昼食は例年の「おぎのや」さんで釜飯などをいただき、お土産コーナでは家族への土産か?一時本校生徒であふれかえっていました。帰りの天候も暑いくら

が、初々しさの中にも堂々とした挨拶をしてくれました。実習は学年及び個々の技量に応じてグループ分けされていますが、一年生でも経験者が数名いて、

創作ダンス部 優秀賞獲得!

「奈良県中学校ダンス発表会」



奈良県天理市の天理市民会館やまべホールにて開催された第四十六回奈良県中学校ダンス発表会に出場しました。I部においてサインダンスの踊りで見事優秀賞(一位)に輝きました。一年生をはじめ、サインダンスの初心者も多く、手話を覚えることからステップや構成、そして感情表現と、創作にはずいぶん苦労しました。今回優秀賞を取れたことはサインダンスのメンバーのみならずダンス部全員にとつても嬉しいことでした。

創作ダンス部が二月十四日(土)、奈良県天理市の天理市民会館やまべホールにて開催された第四十六回奈良県中学校ダンス発表会に出場しました。

創作ダンス部が二月十四日(土)、奈良県天理市の天理市民会館やまべホールにて開催された第四十六回奈良県中学校ダンス発表会に出場しました。

進路部

平成27年度 大学入試について

進路部長 霜野 弘宜

平成27年度大学入試から、数学、理科において新課程対応の試験になりました。センター試験の理科の科目選択方法等で変更があり、受験生たちは例年以上に慎重に出願準備をしていました。センター試験の結果を見てみると、5教科7科目900点満点集計の予想平均点が文系540点(前年532点)、理系570点(前年568点)と、昨年よりやや上昇しました。科目ごとの平均点をみてみると、国語が119.22点(前年98.67)と振り戻しましたが、数学II B39.31点、生物54.99点、地理B58.59点、倫理政経59.57点と下げた科目も多くありました。また、「物理I」(旧課程)と「生物」(新課程)の平均点差が大きかったことから、「物理」「化学」「生物」の受験者に対し加点措置の「得点調整」が実施されました。来年度は新課程入試2年目です。下級生の皆さん、先輩の受験情報をしっかりと受信し、自分の受験に備えてください。

最近報道等で現行のセンター試験に代わる「新テスト」導入などの大学入試改革が話題になっていますが、これは決定ではなく予定であるということを理解しておいてください。もしかしたらセンター試験がなくなるかもしれませんし、マークシート形式も継続するかもしれません。しかし、何も変わらないという可能性は低いと思います。現に、来年度入試から東京大学と京都大学は推薦入試を導入します。また、スーパーグローバル大学(SGU)に採択されている大学を筆頭に、グローバル人材育成を目的とした入試方式を随時導入していきます(英語の外部試験(GTEC、TOEFL、TOEICなど)を入試に採用するなど)。3年先の大学入試がどうなっているかなんて見当もつきません。皆さん、瞬きしていると見逃しますよ。4、5年生の皆さんにも関係がありますよ。

現在、私立大学のほぼすべての日程、国公立大学の前期、中期日程の受験が終了しています。6年生の受験も残すところあとわずかです。3月まで本当に多くの受験生が粘りました。「努力は報われる」そう願っています。

平成27年度大学入試速報

平成27年3月10日16:00現在

● 平成二十七年度入学試験について

去る一月十七日(土)・十八日(日)の両日、本校会場並びに奈良会場(奈良商工会議所)において、平成二十七年度入学試験を実施しました。

全国的な少子化に伴う児童数の減少で、奈良県下でも、各私立中学では志願者を減らしている現状ですが、本校においても多分に影響を受け、受験者数が昨年を下回る結果になりました。

しかし、当日の受験生の様子を見ておりますと、不安と緊張の中にも日頃の成果を発揮しようという意志の強さがこちらにも伝わってくるほど、真剣なまなざしで鉛筆を走らせていました。

四月から、四十一名の精銳を迎えることになりました。

国公立大学

| | |
|---------|---|
| 京都大 | 1 |
| 大阪大 | 2 |
| 神戸大 | 3 |
| 千葉大 | 1 |
| 横浜市立大 | 1 |
| 信州大 | 1 |
| 岐阜大 | 1 |
| 豊橋技術科学大 | 1 |
| 名古屋市立大 | 1 |
| 滋賀大 | 1 |
| 大阪市立大 | 1 |
| 大阪府立大 | 2 |
| 奈良教育大 | 1 |
| 奈良県立医科大 | 3 |
| 神戸市外国语大 | 1 |
| 兵庫県立大 | 1 |
| 広島大 | 1 |
| 鳥取環境大 | 1 |

医学系

| | |
|---------|---|
| 奈良県立医科大 | 1 |
| 自治医科大 | 1 |
| 兵庫医科大 | 1 |
| 川崎医科大 | 1 |

薬学系

| | |
|--------|---|
| 京都薬科大 | 2 |
| 大阪薬科大 | 1 |
| 近畿大 | 5 |
| 同志社女子大 | 1 |
| 兵庫医療大 | 2 |
| 姫路獨協大 | 2 |

歯学系

| | |
|-------|---|
| 日本歯科大 | 1 |
| 朝日大 | 1 |

私立大学

| | |
|-------|----|
| 早稲田大 | 1 |
| 上智大 | 1 |
| 立教大 | 3 |
| 同志社大 | 14 |
| 立命館大 | 34 |
| 関西大 | 21 |
| 関西学院大 | 8 |

防衛大学校(1次合格)

10

その他